

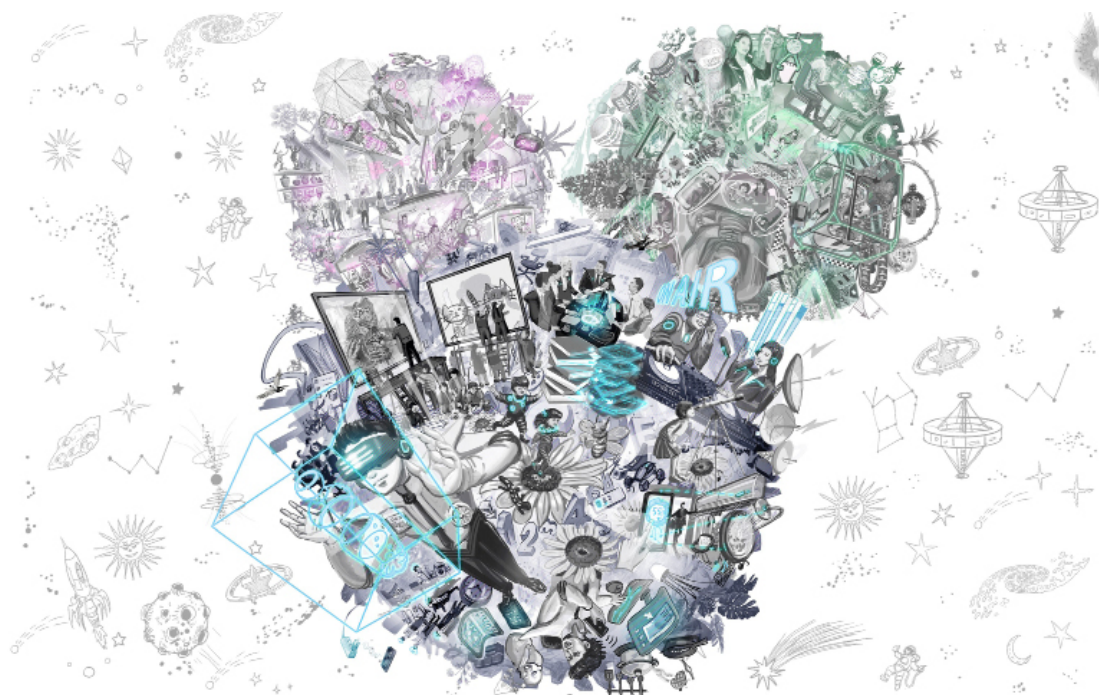
PRESS RELEASE

報道協力資料／日建設計
2021年3月23日

報道関係者各位

人々の未来のアクティビティを提案 ～ BEYOND コロナの豊かな生活をウェブサイトで公開～

株式会社日建設計（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：大松敦）のNAD（NIKKEN ACTIVITY DESIGN lab）は、2030年の社会と未来のアクティビティを10のテーマでまとめた「Future Activity Report」を発行しました。このレポートは、本日3月23日よりNADのウェブサイトで公開いたします。



▲「Future Activity Report」公開サイトトップページ、未来の都市のイメージ「Activity Planet」

■ 「Future Activity Report」公開ウェブサイト

： <https://www.nikken.jp/ja/nad/activities/index.html>



本件に関するお問い合わせ先 日建設計 広報室 Tel. 03-5226-3030（代表） e-mail webmaster@nikken.jp

■ 「Future Activity Report」 とは

このレポートは、2030年の社会における人々のアクティビティを研究・考察したものです。「消費体験」「テナント」「旅行体験」「文化教養」「居住」「働き方」「健康衛生」「学習教育」「公共空間」「移動体験」の10テーマについて、NADが考える「FACT&FINDINGS（社会の変化を読み取る）」、「VISION」、「IDEA」を紹介しています。



▲10のテーマをイメージしたイラスト

■ 「Future Activity Report」 発行の背景

NADは、建築の設計監理、都市デザインを行う当社のなかで、新領域を担当する部署として、ユーザーの能動性を豊かにする「アクティビティデザイン」を行っています。ブランディングやワークスタイルなどの多様な課題を持つクライアントに対し、建築設計で培われた「デザイン思考」を活用し、プロジェクトの初期段階での調査分析、戦略立案や与件整理、コンセプトメイクから、完成後の運用段階まで、従来の建築設計事務所の枠組みにとらわれない、領域を超えた活動を行っています。

新型コロナウイルス感染症拡大で社会が急速に変化し、その変化に対応する新しい環境が求められるようになりました。NADのメンバーは、昨年4月に発出した緊急事態宣言以降、人との接触が最小限となり、個人で過ごす時間が増えるなか、その時間を生かした活動として、改めて未来の社会と新しいアクティビティについて向き合うこととしました。そして、コロナ禍の経験を踏まえ、未来のライフスタイルの変化を予測し、その変化を魅力的で豊かな生活につなげるための方策をメンバー全員が1人1つずつテーマを持ち研究考察を行いました。こうして生まれたのが「Future Activity Report」です。

■アイデアの実現で明るい未来を築く

このレポートが新しい時代の可能性と人々が生き生きと過ごす明るい未来を拓くための一助となれば幸いです。

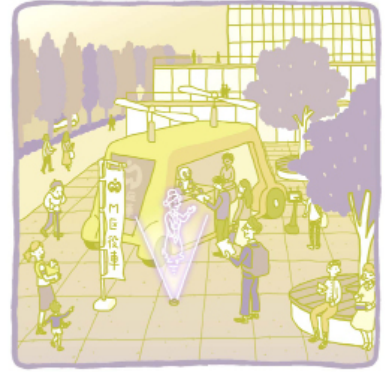
■アイデアの一部を以下に紹介いたします



▲お年寄り中心のまち



▲働く惑星



▲区役車

■会社概要と問い合わせ先

＜株式会社日建設計＞

建築の設計監理、都市デザインおよびこれらに関連する調査・企画・コンサルティング業務を行うプロフェッショナル・サービス・ファームです。

Website : <https://www.nikken.jp/ja/index.html>

【新領域開拓部門 NAD (NIKKEN ACTIVITY DESIGN lab)】

社会と個人をアクティブに変えることを目的とする、越境するデザイン集団として、場をめぐるさまざまな領域へと越境して関わり、プロジェクトに形を与えて、実際に駆動させ、ユーザーの豊かな体験を現実のものとします。

Website : <https://www.nikken.jp/ja/nad/>

本件に関するお問い合わせ：株式会社日建設計 広報室 03-5226-3030
webmaster@nikken.jp